

多施設共同での 60 歳以上のドナーを用いた生体肝移植後のドナー及びレシピエントの成績に関する研究

はじめに

60 歳以上のドナーを用いた生体肝移植症例のドナー及びレシピエントに関する手術情報の全国集計を行い、レシピエントの移植後成績とドナーの予後について明らかにします。

対象

九州大学病院及び下記の肝移植施設において、1995 年 6 月 1 日以降 2013 年 12 月 31 日までに 60 歳以上の生体ドナーを用いて生体肝移植を施行されたレシピエントと 60 歳以上で部分肝提供を行った生体ドナーが対象です。

研究期間は研究が許可されて以後 2016 年 12 月 31 日までで、対象者数は 300 人、九州大学での目標症例数は 10 人です。

本研究の対象となることを希望されない方はお申し出下さい。

方法

該当する症例を被験者として登録し、登録時に下記の臨床情報に関するアンケートを共同研究者に送付、収集したデータを検討する。

- ① レシピエント情報：年齢、性別、身長、体重、術前状態（入院、自宅待機など）
肝原疾患、Child-Pugh スコア、
Model for end-stage liver disease (MELD)スコア、転帰、
術後合併症、感染症、死亡症例はその原因、
術後免疫抑制剤の種類
- ② ドナー情報：年齢、性別、身長、体重、続柄、転帰、術後合併症、
死亡症例はその原因
- ③ レシピエント手術情報：手術時間、出血量、グラフト種類、グラフト重量、
虚血時間、脾臓摘出の有無
- ④ ドナー手術情報：手術時間、出血量

研究期間

許可日から 2016 年 12 月 31 日までです。

個人情報管理について

データはすべてコード化し、固有名詞は記号化し、個人の特性を防ぎます。得られた結果は研究目的以外には使用しません。論文や学会等で公表する場合は個人が特定されないようにします。

医学上の貢献

60 歳以上のドナーを用いた生体肝移植において、レシピエントの生存率およびグラフトの生着率を明らかにし、レシピエントの生存とグラフトの生着に寄与する因子を明らかにします。また、60 歳以上のドナーの術後合併症と予後を明らかにします。

研究機関

九州大学病院肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科及び下記共同研究施設
愛媛大学肝胆膵・移植外科、大阪大学消化器外科、大阪医科大学一般・消化器外科、
岡山大学肝・胆・膵外科、金沢大学消化器・乳腺／移植再生外科、
京都大学肝胆膵・移植外科、京都府立医科大学移植・一般外科、
熊本大学小児外科・移植外科、群馬大学病態総合外科、群馬大学臓器病態外科、
慶應義塾大学外科、神戸市立中央市民病院・移植外科、神戸大学肝胆膵外科、
国立成育医療センター・臓器移植センター、順天堂大学肝・胆・膵外科、
信州大学第一外科、千葉大学先端応用外科、千葉大学臓器制御外科、
東京大学肝胆膵外科・人工臓器移植外科、
東京医科大学八王子医療センター消化器外科・移植外科、
東京医科歯科大学肝胆膵・総合外科、東京慈恵医科大学消化器外科、
東京女子医科大学消化器外科、東北大学移植・再建・内視鏡外科、
徳島大学消化器・移植外科、長崎大学移植・消化器外科、
名古屋大学移植外科、新潟大学消化器・一般外科、日赤医療センター、
弘前大学消化器外科、広島大学消化器・移植外科、福島県立医科大学臓器再生外科、
北海道大学消化器外科 I、三重大学肝胆膵・移植外科、
横浜市立大学消化器・肝移植外科

九州大学病院肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科：前原喜彦（科長）、調 憲（副科長）、
吉住朋晴、池上 徹

連絡先：〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

九州大学大学院消化器・総合外科 吉住朋晴

電話：092-642-5466(直通) E-Mail yosizumi@surg2.med.kyushu-u.ac.jp

掲載予定の HP アドレス：<http://www.kyudai2geka.com/>